



思いをつなぐ いのちをつなぐ

t s u n a g u

つなぐ

3.11 を忘れない
今、わたしたちにできること

Vol. 30

2023年2月6日発行

つなげよう脱原発の輪

上越の会 会報

発行責任者：植木史将

雪国でもソーラーシェアリングが成り立つ！！

(ソーラーシェアリング=太陽光発電とその下(隙間)で農業)

ソーラーシェアリング見学&ブルーベリー摘み体験



【日時】2022年7月24日(日)
【参加者】19名(うち子ども9名)

【会場】観光農園たいようのめぐみ
【講師】鈴木正芳さん、鈴木めぐみさん

太陽光パネルを間隔を空けて農地の上に設置し、農業を行いながら売電収入を得るといふ、ソーラーシェアリング。とても気になるけど、日照時間が短い新潟でも出来るの？大きな設備投資をして利益は出るの？太陽光パネルは捨てる時に環境に負荷を与えるというけど？疑問がいっぱい。この上越地域で実践しているブルーベリー農家さんを訪ね、お話を伺いました。

利益は出るの？

- ・・・**出ます**。太陽光パネル(台や機械含め)で最初に1,200万円の支出。売電収入は、平均年200万円。20年間は保険が効くので修理代ゼロ。6年で初期投資を回収し、その後は売電収入がそのまま利益に。また売電とは別に農業の利益もあります。(こちらでは売電価格は固定価格@29円(税込)で算定されている)



摘みたてのブルーベリー、とっても美味しかったです。

雪国では日照時間が少ないのでは？

- ・・・実は**東京と大差ない日照量**です。(九州などは新潟や東京よりも多い)

雪で太陽光パネルは壊れない？

- ・・・2年前の**豪雪のときにも壊れませんでした**。台が少し変形しましたが、支障なく使えています。パネルの角度は20度で、雪は自然に落下します。

(次ページへ続く)

農業で使う電気は、ここで発電している電気？

- ・・・残念ながらここで発電している電気は全部売電していて、農業用の電気は購入しています。

電気の自給自足はできないの？

- ・・・蓄電池などの機械があればできますが、まだまだ蓄電池は値段が高いです。

初期投資の1,200万円は高いですね。

- ・・・どんどん下がってきていて今なら半値の600万円です。

太陽光パネルで火災が起きると消火が困難と聞きましたが？

- ・・・そんなことはありません。実際に消火しましたが、通常の火災と同じでした。(なんと鈴木さんは消防士)

太陽光パネルの大量廃棄の問題は？

- ・・・今はリサイクル技術が進んできていて、そのまま廃棄ということにはなりません。

田んぼでもできますか？

- ・・・台は4Mまであげられるので、大型機械を使う稲作でも可能です。



時間を超過して白熱した質疑応答



1200㎡の農地で4年前から営業されています。64ワットの太陽光パネルで、49ワットが最大の売電です。もともとは米農家さんで、その育苗ハウスあとに設置されました。農地で太陽光発電事業をするにはその下で農業をしなければいけません。何をやるか迷ったようですが、県内で3か所しかないブルーベリー農園にされました。(そのうちソーラーシェアリングをしているのはこちらの農園のみ) 許可が下りるまで5年掛ったそうです。



断捨離フリマ&マルシェ

【日時】2022年8月28日(日)、10月30日(日)

【会場】金谷山公園 【主催】金谷人

6月26日に続き、活動資金集めと資源を大切にするという理念のもと、「断捨離フリマ&マルシェ」に参加しました。当会賛同人からご提供いただいたフリマ商品を販売するとともに、当誌「つなぐ」や「再エネと原発」チラシを手渡し、賛同人もたくさん獲得しました。



賛同人のお誘いに快く応じてくださる参加者

つな脱マルシェ & なくそ原発 2022 講演会 IN 上越



(2022.11.28 上越タイムスより)

【日時】2022年11月27日(日)

【会場】上越市市民プラザ ホールABC(スタンディングは市民プラザ前)

【内容】マルシェ(22店舗、18ブース)、再エネゆる動画上映、DVD講演会、抽選会、スタンディング

【参加者数】マルシェ:168名、講演会:44名、スタンディング:16名

原発賛成の人、どちらでもない人が原発反対になることで世論が脱原発へと向かいます。そうなるために、原発反対集会に来たことがない人にも来ていただく仕掛けとしてマルシェと抽選会も行いました。マルシェは飲食店のほか、野菜やはがき、アクセサリーの販売、似顔絵、金魚すくい、マッサージなど大人も子どもも楽しめるように出店者を募りました。マルシェでお買い物された方に抽選券を配り、講演会後に抽選会を行うことで、講演会への参加を促しました。



「福島第一原発の汚染水はなぜ増え続けるのか」の説明をされる金井克明さん



《DVD講演会「私たちは安全に避難できるのか」》

講師：本間 保さん

(柏崎・本間内科医院 院長、柏崎刈羽原発の透明性を確保する地域の会委員)

柏崎市の原子力災害避難計画について(国の指針に従っているので全国どこでも基本は一緒)



●事故は起きないという前提で行われた誘致は無効 誰も避難計画が必要な発電所など望んでいなかった。●避難計画ではなく移住計画では? 福島では11年経ってもふるさとに戻れない人がたくさん。特に若い人。●被曝線量の限度が示されていない 市の回答は「できる限り低くする」●避難をサポートする人々「自分の事をなげうって職務に遂行されるだろう」(柏崎市長)市職員、保育園、学校関係者、医療福祉介護関係者、除雪作業員、電気・水道事業者、など。その方たちの家族は?強制があっているの?信頼しているの?●屋内退避は問題だらけ ・5キロ圏の住民が避難している間、30キロ圏の住民は避難できない。 ・線量が上がってからの避難。被曝が前提。 ・屋内退避中にも被曝する。(時間が長ければ長いほど) ・内部被曝が考慮されていない。(吸い込んだり飲み込んだりでの被曝)●スクリーニングポイント(線量測定ポイント) ただでさえ渋滞が予想されるが、スクリーニングポイントではさらなる渋滞を招く。(最大で1台20分)●新潟県の避難時間のシミュレーション結果 地震との複合災害の場合157時間30分=6日と13時間。大雪で除雪が進まない場合のシミュレーションはなし。●被ばくを防ぐ避難計画が作れないのだから、原発を廃止すべき。

上越市の再エネ

上越市に「再エネ導入計画」ってあったけど、どうなっているのかなと思い、市のホームページを見てみた。更新日が2018年6月25日で、計画期間が2014年度から2020年度……??

きっとその後も延長されているけれど、ホームページ上では更新されていないだけだろう……と思いつつ、市に問い合わせしてみた。

するとなんと「2020年度で終わっています」「計画延長の予定はありません」とのこと。ただし、今年度末に策定予定の「環境基本計画」と「地球温暖化対策実行計画」の中に再エネも簡易的に組み込まれる、とのこと。再エネ導入計画では出されなかった、太陽光パネル設置の具体的な計画も盛り込まれるそうだが、期待と不安。

上越市公共施設での年間発電量 (2021年度)

発電設備	発電量(kWh)	世帯数に換算
太陽光	58,683	16
小水力	370,186	103
バイオガス	1,465,887	407
バイオマス	33,284,440	9,246
計	35,179,196	9,772

(上越市ホームページ「再エネの発電状況」より)

注目は「バイオマスの発電量の大きさ」と「太陽光の発電量の小ささ」。それぞれ9,246世帯分と16世帯分(1世帯3,600kWhで計算)。旧再エネ導入計画で太陽光パネルの設置が全然進んでいない理由は、市担当者も当時担当外ということで不明。位置付けが後退した新計画で果たして導入が進むのか。うーん、やはり不安……。 (植木史将)

♥つなげよう脱原発の輪 上越の会

代表：植木史将 (090-4962-9633)

フェイスブック、ホームページ、
随時更新しています!



カンパ募集中です

当会は皆様からのカンパで運営されています。
ご協力よろしくお願いいたします。

ゆうちょ銀行から…11260-13169471

ゆうちょ銀行以外から…ゆうちょ銀行・伊ノ口(一二八)・普通・1316947

名義 つなげよう脱原発の輪 上越の会



私の思い



おひさまから請求書は来ない

上越市新保古新田・佐藤友来

我が家に太陽光パネルを設置したのは2020年8月。蓄電池を備え夜間も電力をまかなう電気の自給自足へのチャレンジをスタートしました。当時、オフグリッド(公共の電力インフラに依存しない)生活をされていた方のお話し会に参加したことがきっかけです。横浜で5年以上電気を買わずに自家発電で暮らしているという話はとても興味深く「私もやりたい!」と行動に移しました。

ただ、日本海側は冬の日照時間が少なく完全なオフは難しく、雪国バージョンのオフグリッドということで、12~3月は電気を購入する前提でのチャレンジでした。3年目になりデータも集まり、雪国での太陽光による電気の自給自足はさまざまな問題を解決できるのではと感じています。

パネルの廃棄問題も技術国日本が本気を出せばリサイクルシステムを確立できるはず。未来の子どもたちのためにも、原発ありきのエネルギー政策から大きく方向が変わることを願います。

【プロフィール】さとうゆき 福井県生まれ。上越に1ターンし9歳、6歳の子育て真最中。@木野子(あつときのこ)として自然と暮らしに寄り添ったモノ作りをテーマに活動中。

◆◆編集後記◆◆

▼今日は、阪神淡路大震災のあった1月17日。東日本大震災も原発さえなければ……。12月19日 記録的な大雪で、柏崎の国道で最大800台が立ち往生。原発事故は、時を選ばない(Y.Y)

中古農機具と自然食品のお店
合資会社宮崎農機具店
〒943-0227 新潟県上越市三和区香町1608
TEL 025-532-2051 FAX 025-532-4078
miyazakinoukiguten@gmail.com
宮崎農機具店 日・祝 祝日休 / 土不定休 9:00~18:00